

創立 40 周年に寄せて

特定非営利法人 東村山市文化協会 会長 山 川 昌 子



会員、役員の皆様、日頃から会の活動をご支援下さる皆様には益々ご壮健にてご活躍の事とお慶び申し上げます。

平成 26 年に村上俊三様から会長という大任をバトンタッチして 4 年になりました。

当協会は昭和 53 年に「東村山市文化連盟」として発足し、今年 40 周年を迎えました。市役所庁舎が現庁舎の場所に移転した後に、旧庁舎となった別館を使用して市内の芸術家有志によって文化祭として作品発表の場をもたせていただきました。その中で文化連盟として団体結成の気運が盛り上がってきました。成り立ちの形からスタートは親睦団体となり、初代会長に武田芳雄様が就任されて 10 年間務められ、第 2 代会長の天野林作様が親睦団体から事業運営を主とする事業団に変更し、秋の文化祭の他に春の文化のつどいを開催いたしました。平成 5 年に第 3 代会長の村上俊三様が就任されてから市議会の丸山議長と協議されて市議会ミニミニコンサートを開始しました。年 4 回の市議会初日のミニミニコンサートは、議会傍聴者増の一助になり、参加各団体の PR にもなりました。平成 10 年 6 月に「東村山市文化協会」と名称変更し、平成 21 年 12 月には念願だった法人化を成し遂げました。登録の団体会員数も増加してきました。

会設立からの先輩諸兄の努力に対し心から感謝申し上げ、その意思を受けついで次代の東村山市の文化芸術発展のために尽力する決意でございます。

徳川家康は、晩年に戦乱の後は文化で治めるとして「文治の世」を目指したと記録にあるそうですが、日本文化の伝統を受けつぎ、明日の東村山市の文化芸術を幅広く奥深く次々と生み出す力となれる地域文化の向上を推進する事業の展開を目指して参ります。“文化のつどい”や支援する“文化祭”の他に、フレッシュコンサート、市議会議場でのミニミニコンサートとロビー展示、東村山市日中友好協会と共同主催する東京中国歌舞団陽二蓮歌の世界 in 東村山、櫻能、講談の夕べ、会員交流となる一日研修会等、それぞれの担当役員のもとに会員各位の協力により実施しております。

最後になりましたが、これまでの事業については、市長はじめ教育委員会の教育長、教育部部長、次長、さらに所管の社会教育課長、公民館長、係長、職員の方々の支援あつての事と、心からの感謝を申し上げます。

あわせて、日頃より絶大なご支援をいただいております賛助会員の方々、応援して下さっている多くの市民の皆様には厚く御礼申し上げます。

これからも当協会に対し、皆様のご理解ご支援を賜りますよう、伏してお願い申し上げます、ご挨拶の言葉とさせていただきます。

東村山市文化協会 40周年を祝して

東村山市長 渡部 尚



東村山市文化協会が、40周年の記念すべき年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。また、これまで積み上げてこられました伝統ある貴協会の活動を記録し、これからの発展に寄与されようと記念誌を発刊されますことは誠に意義深く、発刊に関係された皆様のご尽力に敬意を表します。

40年という長きにわたり、山川現会長をはじめとした歴代の会長、会員の皆様、加盟団体の皆様には、日頃より東村山市の文化・芸術の振興にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

さて、貴協会におかれましては、昭和53年、初代武田芳雄会長のもと、東村山市文化協会の前身である「東村山市文化連盟」として発足以降、所属団体様のご協力・ご尽力のもと、現在も続く「市民文化のつどい」をはじめ、「議会ミニミニコンサート」「東村山フレッシュコンサート」「東京中国歌舞団公演」など様々な事業の開催や、「文協だより」の発行による情報発信などを積極的に行い、東村山市の文化・芸術活動の中心的存在として活動を進めてこられました。

当市におきましても、市民の皆様が気軽に文化・芸術活動に取り組める環境を整え、生涯にわたる文化・学習活動が充実するまちを目指しておりますので、これからも共に東村山の文化・芸術活動の発展にお力添えいただきたく存じます。

むすびに、40周年を契機といたしまして、ますます、貴協会が発展されますことをご祈念申し上げますとともに、会員の皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げまして、お祝いのことばといたします。

～NPO 法人東村山市文化協会の創立 40 周年に向けて～

衆議院議員 木原 誠二



この度は NPO 法人東村山市文化協会の創立 40 周年、誠におめでとうございます。

東村山市文化協会の皆様におかれましては、歴代会長、また歴代会員の皆様の長年にわたるご尽力により、東村山市民の芸術・文化および青少年育成や生涯学習の振興に多大なるご貢献をいただき心より感謝申し上げます。

東村山市では、毎年 5 月に開催される「文化の集い」が、秋の「市民文化祭」と並んで春の文化行事として定着し、市民参加型のイベントとして大いに盛り上がっています。これも文化協会の皆様のご尽力の賜物とあらためて感謝申し上げます。

現在、日本は人生 100 年時代と言われています。長年、文化協会の皆様が取り組んでこられました「生涯学習」の視点が益々重要となり、市民の皆様が、文化芸術に親しみ、更に、生涯生きがいを持って生活ができますよう、文化協会の皆様のお力をお借りできればと思っております。私も、国政より陰ながら応援させていただきます。

結びに、今後も東村山市民の文化意識の向上、お子様からご高齢の方まで、明るく希望に満ちた市民生活の創生にご貢献いただきますよう、お願い申し上げ、東村山市文化協会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝ご多幸を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

40 周年を祝して～「文化の力」発信こそ次なる指標～

東京都議会議員 谷村孝彦



発足 40 周年を寿ぎ心よりお祝い申し上げます。そして日々、市民の皆様の文化活動を力強く支えておられますことに改めて敬意を表します。

さて今年江戸開府 415 年、明治元年より 150 年という節目も迎えます。3 世紀にもわたって戦乱のない時代は古今東西の歴史の中でも稀有と言われております。

また、明治から 150 年の歴史は 2 つに分けられ、前半の 75 年は国際社会にデビューしたものの日清、日露、日米の開戦に突き進み、最後は地に倒れてしまいました。

一方、後半の 75 年には日本国憲法が施行され、戦後復興、阪神淡路・東日本大震災からの復興を進めつつ経済で世界 3 位という発展を成し遂げました。そして平成の時代が幕を降ろした直後に、東京は 2 回目の五輪、パラリンピックを開催します。

この平和の祭典で東京は、次なる時代に向かって世界に何を発信していくべきか。その次なる指標は、私は文化であり人権・ヒューマニズムで誇れる「文化都市・東京」であると思えます。そしてそれは日常生活の中で育まれる文化であり、貴協会の日々のご活躍のお姿こそ、東京が世界に発信していくべきテーマであると信じてやみません。

40 周年という佳節を契機に、さらなるご発展を心からご祈念申し上げます。

市民文化推進のリーダーに期待して

東村山市議会議員 伊藤 真一



東村山市文化協会創立 40 周年、誠におめでとうございます。

長きにわたり、多種多様な文化活動を通じて市民の生活に潤いを与え、生きがいを創出してこられた貴協会のこれまでのご労苦に、心より感謝申し上げます。

文化は人間のみが持ち得るものであり、文化活動はまさに人間性の発露そのものであります。人間社会は時に冷徹であり、殺伐とした側面を垣間見せることもあります。それゆえ、成熟した人間社会の実現に文化や芸術の隆盛は必要欠くべからざるものともいえましょう。

また、人生を彩るのも文化の大きな役割です。艱難辛苦の人生の峰を力強く踏破していく原動力こそ、文化の持つ大きな力ではないでしょうか。人々に勇気と希望、そして励ましを与えてくれる不思議な力が文化や芸術にはあると思います。その意味からも、貴協会は、わが市における文化芸術活動のリーダーとして、成熟した人間社会の形成と、充実した市民生活の実現に大きな使命を担っておられるものと信じてやみません。

結びに、東村山市文化協会の益々のご発展、ならびに加盟各団体のご活躍を心よりご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

40 周年記念誌に寄せて

東村山市議会生活文教委員長 石橋 博



NPO 法人東村山市文化協会創立 40 周年を、心よりお喜び申し上げます。

昭和 53 年東村山市文化連盟として発足から 40 年、市民の文化・芸術活動の振興にご尽力されていられることに敬意を表しますとともに深く感謝いたします。40 周年を迎えられ、現在傘下 46 団体と大世帯となり、組織運営や活動内容も年々充実発展してきているとお聞きしています。

歴代会長をはじめ役員の皆様、そして、会員一人ひとりの熱意と努力の積み重ねにより、40 年という尊い歴史がつくられ、NPO 法人東村山市文化協会の伝統が構築されたことと拝察いたします。

とりわけ、貴協会主催の「市民文化のつどい」は市民に定着し、多くの市民が日頃の学習の成果を発表する機会を心待ちにしていると伺っております。

また、貴協会のご協力により定例議会の初日開会前に平成 10 年より行われている「ミニミニコンサート」も平成 30 年 3 月定例会で 79 回となりました。このコンサートや休憩時の茶道連盟による「お茶のサービス」、定例議会中、5 階フロアに展示されている「会員の皆様で作成された書画等の力作」に多くの議員が心癒されています。

今後、50 周年に向かって、貴協会がより一層発展することをご祈念申し上げます。

文化協会創立 40 周年を祝して

東村山市教育委員会教育長 森 純



NPO 法人東村山市文化協会の創立 40 周年誠にありがとうございます。これまでには、山川会長はじめ歴代の会長、役員の方々には多くの困難があり、それを乗り越え、現在の文化協会があると思っております。

貴協会は、昭和 53 年 3 月に設立され広く市民文化の振興・発展にご尽力をいただいておりますが、平成 22 年に NPO 法人東村山市文化協会として再出発され、一層の発展・充実を遂げてまいりました。

平成 29 年度には「第 26 回市民文化のつどい」が盛大に挙行され、貴協会に所属されている団体を中心に 50 団体による公民館での催しや絵画、盆栽、書道、写真などで多くの市民の皆様が楽しませていただきました。

また、「第 23 回フレッシュコンサート」では、オーディションを通過した 10 組に発表していただきましたが、才能ある若手演奏家に発表の機会を与えるという素晴らしい事業を行うなど、多くの場面において貴協会が市民文化の発展にご尽力いただいていることに改めて敬意と感謝を申し上げます。

結びに、NPO 法人東村山市文化協会の益々の充実と発展、そして会員の皆様のご健勝でのご活躍をご祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

東村山市文化協会創立 40 周年記念を祝して

東村山市文化協会が、創立 40 周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

文化協会の皆様におかれましては、日頃より市民文化の振興・充実に向け、多大なるご尽力・ご協力をいただきまして、心より感謝申し上げます。

東村山市教育委員会

教育部長

野崎 満



教育部次長
(生涯学習担当)

田中 宏幸



社会教育課長

平島 亨



公民館長

服部 浩明



創立 40 周年を祝して

東村山市商工会 会長 新 義友



東村山市文化協会が創立 40 周年という記念すべき年を迎えられ、心よりお慶び申し上げます。

貴協会は、芸能・文化・学習などの振興、普及や各団体との連携と研鑽を通じ、地域文化の発展を目的に、昭和 53 年に東村山市文化連盟として発足し、平成 21 年にはさらに充実した組織として NPO 法人を設立され、本年度 40 周年を迎えられました。この間「市民文化のつどい」をはじめとした各種文化芸能活動を幅広く展開し、地域の文化芸能の向上と推進に多大な貢献をされており、歴代の役員や会員の皆様には改めて敬意を表します。

商工会では、2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、地域ブランド事業や地域グルメの推進など、産業を視点とした観光事業に取り組んでいますが、今後地域の文化芸能を包括する貴協会とも連携して、東村山市の独自の魅力創出などにより、国内外からの来訪者を誘致し、地域の活性化を図って行きたいと考えております。

結びに、このたびの 40 周年を契機に貴協会の益々のご発展と共に会員各位のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

東村山市文化協会 40 周年を祝して

東村山市日中友好協会 会長 島田久仁



人と人を繋ぐ文化・芸術のソフトパワーで、40 年にわたり東村山市民の心の大地を耕してこられた先人に衷心より尊敬と感謝の思いを捧げたいと存じます。東村山市文化協会創立 40 周年誠におめでとうございます。そして、ありがとうございます。

東村山市日中友好協会は、「東京中国歌舞団」と歌手・陽二連のコンサートを文化協会と共催させて頂いております。150 席程度のコンサートですが、揚琴、二胡、中国琵琶といった中国楽器の豊かな音色や陽二連さんの優しく美しい歌声が好評で、開催にご尽力いただいている文化協会事務局の皆様には心より御礼申し上げますとともに、これからも何卒宜しく願いいたします。

昨年、日中友好協会で中国蘇州市を訪問した折、蘇州市が力を入れている婦人・児童センターを見学しました。そこは、子どもたち誰でもが中国古来の楽器の奏法や舞踊、演劇など幅広い文化・芸術を学べる施設で、なんと子どもたちのための劇場まで用意されていました。女性のためには起業支援に力を入れ、有名な蘇州刺繍で革新的な作風に挑戦する作家の支援なども行われていました。こうした「女性と子どもと文化・芸術」の分野での日中の交流が大きく広がることを念願して、今後も東村山市文化協会の皆様とともに進んで参りたいと存じます。

祝辞 NPO 法人東村山市文化協会 40 周年を祝して

NPO 法人東久留米市文化協会 会長 田 端 六 郎



東村山市文化協会が創立 40 周年を迎えられ、記念セレモニー開催と記念誌を発行されましたことに心からお祝い申し上げます。

文化協会 40 周年の歩みは、東村山市の文化・芸術の歴史そのものであると思います。歴代の会長はじめ役員並びに会員皆様のたゆまぬ活動により様々な実績を挙げてこられましたことに深く敬意を申し上げます。「櫻能」のすばらしい公演を拝見いたしました。

特に平成 10 年 3 月議会より「議会ミニミニコンサート」が議会ごとに開催されていることに大変感激しました。私は、貴文化協会の「議会ミニミニコンサート」をお手本に東久留米市でも何とか実現したい思いに駆られました。過日は「議会ミニミニコンサート」を拝見後、市議会議員の皆様と抹茶まで頂き楽しい一日でした。この日より私は、3 年越しに、市民に親しまれ開かれた議会として、文化・芸術の振興を図る一環とした「議場ミニコンサート」の開催を議会関係者や関連団体に働きかけて参りました。幸いにして、平成 30 年 3 月 3 日（土）の市長所信表明演説に先立ち、午前 9 時から 15 分間、東久留米市議会と当文化協会の共催による初の「議場ミニコンサート」を開催させて頂きました。至福の思いです。貴文化協会のお手本とご指導の賜物に感謝申し上げます。

最後に、東村山市文化協会の益々のご発展と会員皆様のご健勝を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

創立 40 周年を祝して

東大和市文化協会 会長 柳 澤 冬 明



東村山市文化協会創立 40 周年、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。昭和 53 年 3 月の創立以来、40 年の長きにわたり、貴市の芸術・文化の振興と発展に寄与され、市民に潤いを与えて来たものと確信いたします。これもひとえに歴代役員をはじめ会員の皆様との並々ならぬご尽力の賜物と敬意を表します。同じ立場の者として、その大変さは十分理解できるものでございます。

平成 17 年 8 月、貴協会との交流会を東大和市にて実施いたしました。その際、前 村上俊三会長の文化活動に対する真摯な取り組みとバイタリティある行動力に感銘を受けたことを思い起こします。NPO 法人化を果たし協会活動も非常に活発で、加盟団体も多く、特に議場ミニミニコンサートについては、良きアイデアだなと感心いたしました。以降、両協会間で会報などのやり取りを開始、現在に至っております。

今後、山川昌子会長を先頭に役員と会員の皆様が一丸となり高齢化や役員の成り手不足などの逆風を乗り越え、未来に続く東村山文化協会でありますよう願って止みません。

結びに、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしましてご祝辞といたします。

NPO 法人東村山市文化協会創立 40 周年を祝す

顧問 清水千明



昭和 53 年、東村山市文化連盟初代会長武田芳雄さんの家で、有志により毎月盆栽の講習をやっておりました。それが縁で、盆栽愛好会として文化連盟に入会させて戴き、以後代表者は変わりましたが、今日に至っております。

入会させて戴いてから間もなく、副会長の井上さんの推薦で、皆様の同意を得て副会長に就任させて戴き、2 年前まで続けさせて戴きました。

その間、文化協会の一研修で数多くの所へ皆様と同行させて戴きました。またその下見で村上会長や役員の方の車で出掛けた時は、方々の有名な温泉地、観光地を訪ね、時には一泊することもありました。

監査の日笠山さんの家に行って会計監査をしてもらっていたこと、山川さんに役員会の都度他の役員の方と一緒に車で送り迎えして戴いたことなど、思い出すことが沢山あります。多くの行事は観に行くだけでお手伝いもしなくて申し訳ありません。

文化協会が今日のように盛んに活動できるようになったのは、ひとえに役員をはじめとする皆様のご努力の賜物と有難く思っています。

最後に、文化協会の益々の発展を心からお祈りしております。